

「CanguRo」世界最高賞

伊の国際デザインコンで



イタリアの国際デザインコンテストでプラチナ賞を受賞したfuRoのCanguRo

本学の未来ロボット技術研究センター（fuRo）が開発した次世代モビリティ「CanguRo（カングル）」が、世界最高峰とされるイタリアの「A' International Design Award & Competition（A'ダッシュ・国際デザイン賞コンテスト）2020-2021」でプラチナ賞を受賞した。5部門あるうちの「車両・移動性・輸送デザイン賞部門」での受賞で、プラチナ賞は各部門に一つだけの最高賞。受賞理由によれば、「人工知能の時代における機械と人間の新しい関係が生まれた」とされ、「より良い未来のための優れたデザイン」と高い評価を受けた。

車両部門 「機械と人間の新しい関係」



ついて来る乗り物知能ロボ

CanguRo
イタリア語で「力
ンガル」を意味す
る。乗り物とロボッ
トとの融合を目指す
[RidRoid]（ライド

ロイド）シリーズと位
置づけられている。
開発は人と馬とのパ
ートナー関係を模して
進められ、高度なAI
とロボット技術を駆使
してその関係性を再

現した。ロイドモー
ド（ロボット）時の
CanguRoは主人の後
をついてきて、買い物
の荷物運びなどを手
伝い、離れた場所
にいてスマートフォ
ンなどで呼び出せ
ば、指定の場所まで
完全自動操縦で迎え
にきてくれる。

主人が移動したい
時はライドモードに
自動で電動変形し、
主人の身体の一部と
なって移動をサポート
する。事故を起こ
しそうになつても自
動ブレーキが働き衝突
を回避する。fuRo
の古田貴之所長は「パ
ーソナルモビリティ
を超えた眞の人機一
体・AI時代の人間のパ
ートナー」としている。

★ A' Design Award
プラチナ賞受賞理由
CanguRoにより、人工
知能の時代における機械
と人間の新しい関係が生
まれた。高度なロボット
工学とAIテクノロジー
に恵まれたこの3輪ロボ
ットは、独立しているが
フレンドリーなパートナ
ーであり、スマートフォ
ンのコマンドを介して自
動運転などの歩行を追跡
することができる。され

に、CanguRoは実際の乗
り物に変形し、個人的な
移動手段となる。その
コンセプトは、動く喜び
を提供することと、人々
の日々の生活を活性化す
ること。

来はアート、デザイン、
テクノロジーによって形
作られる」との考え方を
基づいて「未来を育むア
ート、そして未来の文化
のためのアートを選ぶ」
こと。そのため、ミラノ
工科大の博士論文の提言
を基に、作品展示会場や
紹介本の出版、販売サポ
ートなどを用いる組織が用
意されている。

CanguRoは、ドイツ発
で、世界的に権威の
あるデザイン賞の「IF
DESIGN AWARD」（イフ・デ
ザイン賞）2021＝今年
4月発表＝の「プロフェ
ッショナル・コンセプト
部門」でも、IP DESIGN
AWARDを受賞。世界52カ
国・地域から集まった約
1万件の応募デザインの
中での受賞で、「人工知
能の時代における機械と
人間の新しい関係が始ま
った」と高い評価を受け
た。

意されている。毎年、イ
タリアのコモ湖畔で華や
かな授賞式が行われてい
る。

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<https://www.it-chiba.ac.jp/>

NEWS CIT

2021
5.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

2面 信川准教授ら瞳孔径からAD HD推定へ／品澤さん優秀賞／鈴木さん建築仕上学会修士論文賞も／警備の2氏に叙勲／令和4年度入学試験日程

3面 令和3年度予算案を承認

4面 新型コロナウイルス対策(4月から)／新任紹介

クールビズ実施中



5月1日～9月30日

大学案内 22年版が完成



千葉工業大学の最新情報を満載した「2022大学案内」が出来上がった!!写真。漫画・アニメで活躍する「宇宙兄弟」と本学がコラボして7年目。今回も、夢に向かって挑戦する大きさを学生たちに伝えた。次世代へ向けた本学の研究や産学連携プロジェクトを追うとともに、学科紹介・教育内容・施設・キャンパスライフ案内・クラブの紹介など、本学の魅力満載の内容となっています。希望者に無料で配布する。

日本鉄鋼協会の2021年春季（第181回）講演大会・学生ボスターセッションは3月17～19日、オンラインで開催され、品澤遼さん（先端材料工学専攻修士1年）が発表した「ジルコニウム融体の表面張力に対する酸素の影響」が優秀賞を受賞した。3



ジルコニウム融体の表面張力で

品澤さん優秀賞

は、福島第一原発のメルトダウン事故の処理と、今後の安全対策を図る数値シミュレーションで必要不可欠なデータ。

金属性融体の表面張力を正確に測定するには、以後の安全対策を図る数値シミュレーションで必

要不可欠なデータ。

ジルコニウム融体は、酸素溶解量が非常に大きいので、酸素吸着の影響が小さくないと予想される。

品澤さんは、酸素組成と表面張力を同時に測定する。

4月26日、注意欠如多動症（ADHD）の覚醒や注意機能を担う脳活動の異常を、瞳孔径の大きさに対する時間的な複雑さと左右瞳孔の対称性を解析し、リアルタイムに推定する技術を開発したと



解析アルゴリズム 信川准教授ら開発

発表した。

成果は4月19日、英電子版学術総合誌サイエンティフィック・リポートに掲載された。

ADHDは、不注意や多動・衝動性がみられる発達障害で、早期診断と適切な治療・支援が必要

瞳孔を絞ったり拡大することで強弱を調節して眼球内に取り込むが、近年、瞳孔径の変化がAD

困難だった。

今回、信川准教授らは

要。しかし現在の診断は問診が主体で、今回の成績が客観的・定量的な診断が進むと期待される。

人間の目は外界の光を経て交感神経と副交感神経の二重支配を受けるなど複雑で、ADHDに特徴的なパターンの抽出は

HD関連の神経活動をも反映することが明らかになってきた。しかし瞳孔径は交感神経と副交感神経の二重支配を受けるなど複雑で、ADHDに特徴的なパターンの抽出は困難だった。

HD関連の神経活動をも反映することが明らかになってきた。しかし瞳孔径は健康者よりも大きく、特に未治療者では複雑性と対称性が低下する

こと

で評価した。

その結果、ADHD被験者の瞳孔径は健康者よりも大きくなり、特に未治療者では複雑性と対称性が低下する

こと

で評価した。

結果は、ADHDの

診断率を出せる解析ア

ルゴリズムの開発に成功

した。

覚醒や注意機能の異常

は自閉症や統合失調症に

みられるところから、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これら特徴的な量を機

械学習させることで精度

とを考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授らは社会実装に

向けた研究・開発活動を

加速させている。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これら特徴的な量を機

械学習させることで精度

とを考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

ムを国立精神・神経医療

研究センターなど共同

で特許出願しており、信

川准教授は、瞳孔径を複

合的相補的に評価するこ

とに分かれた。

これが分かった。

とで、これら他の精神疾

患の診断にも寄与できる

と考えている。

現在、この研究成果に

に基づいた診断支援システ

</div

千葉工業大学 令和3年度予算

資金収支

(単位:円)

収入の部			
科 目	令和3年度予算	令和2年度予算	差異
学生生徒等納付金収入	14,500,000,000	14,379,000,000	121,000,000
手数料収入	275,000,000	280,100,000	△ 5,100,000
寄付金収入	100,000,000	374,300,000	△ 274,300,000
補助金収入	1,002,000,000	1,122,000,000	△ 120,000,000
資産売却収入	0	79,000,000	△ 79,000,000
付随事業・収益事業収入	550,000,000	430,400,000	119,600,000
受取利息・配当金収入	380,000,000	504,800,000	△ 124,800,000
雑収入	320,000,000	559,100,000	△ 239,100,000
前受金収入	5,110,000,000	5,160,000,000	△ 50,000,000
その他の収入	6,013,800,000	8,393,000,000	△ 2,379,200,000
資金収入調整勘定	△ 5,410,000,000	△ 6,273,800,000	863,800,000
前年度繰越支払資金	11,739,400,000	10,527,500,000	△ 1,211,900,000
収入の部合計	34,580,200,000	35,535,400,000	△ 955,200,000

支出の部			
科 目	令和3年度予算	令和2年度予算	差異
人件費支出	7,570,700,000	7,468,700,000	102,000,000
教育研究経費支出	4,737,100,000	4,316,200,000	420,900,000
管理経費支出	1,126,600,000	998,900,000	127,700,000
施設関係支出	192,300,000	8,000,000	184,300,000
設備関係支出	636,000,000	850,900,000	△ 214,900,000
資産運用支出	3,007,800,000	7,194,300,000	△ 4,186,500,000
その他の支出	2,850,000,000	3,039,300,000	△ 189,300,000
〔予備費〕	300,000,000	300,000,000	0
資金支出調整勘定	△ 400,000,000	△ 380,300,000	△ 19,700,000
翌年度繰越支払資金	14,559,700,000	11,739,400,000	2,820,300,000
支出の部合計	34,580,200,000	35,535,400,000	△ 955,200,000

事業活動収支

(単位:円)

科 目	令和3年度予算	令和2年度予算	差異
学生生徒等納付金	14,500,000,000	14,379,000,000	121,000,000
手数料	275,000,000	280,100,000	△ 5,100,000
寄付金	100,000,000	374,300,000	△ 274,300,000
経常費等補助金	952,000,000	1,064,400,000	△ 112,400,000
付随事業収入	550,000,000	430,400,000	119,600,000
雑収入	320,000,000	559,100,000	△ 239,100,000
教育活動収入計	16,697,000,000	17,088,000,000	△ 391,000,000
人件費	7,570,700,000	7,468,700,000	102,000,000
教育研究経費	7,270,000,000	6,920,900,000	349,100,000
(内、減価償却額)	2,532,900,000	2,604,000,000	△ 71,100,000
管理経費	1,754,100,000	1,722,400,000	31,700,000
(内、減価償却額)	627,500,000	723,500,000	△ 96,000,000
教育活動支出計	16,594,800,000	16,112,000,000	482,800,000
教育活動収支差額	102,200,000	976,000,000	△ 873,800,000
教育活動外収支差額	380,000,000	504,800,000	△ 124,800,000
経常収支差額	482,200,000	1,480,800,000	△ 998,600,000
特別収支差額	48,000,000	125,900,000	△ 77,900,000
教育活動外収支差額	380,000,000	504,800,000	△ 124,800,000
経常収支差額	482,200,000	1,480,800,000	△ 998,600,000
特別収支差額	48,000,000	125,900,000	△ 77,900,000
基本金組入前年度収支差額(予備費含む)	530,200,000	1,606,700,000	△ 1,076,500,000
基本金組入額合計	0	△ 529,200,000	529,200,000
当年度収支差額	530,200,000	1,077,500,000	△ 547,300,000
前年度繰越収支差額	△ 6,026,400,000	△ 7,103,900,000	1,077,500,000
基本金取崩額	12,000,000	0	12,000,000
翌年度繰越収支差額	△ 5,484,200,000	△ 6,026,400,000	542,200,000
(参考)			
事業活動収入計	17,127,000,000	17,722,700,000	△ 595,700,000
事業活動支出計	16,596,800,000	16,116,000,000	480,800,000

基本金組入前年度収支差額(予備費含む)	530,200,000	1,606,700,000	△ 1,076,500,000
基本金組入額合計	0	△ 529,200,000	529,200,000
当年度収支差額	530,200,000	1,077,500,000	△ 547,300,000
前年度繰越収支差額	△ 6,026,400,000	△ 7,103,900,000	1,077,500,000
基本金取崩額	12,000,000	0	12,000,000
翌年度繰越収支差額	△ 5,484,200,000	△ 6,026,400,000	542,200,000

(参考)			
事業活動収入計	17,127,000,000	17,722,700,000	△ 595,700,000
事業活動支出計	16,596,800,000	16,116,000,000	480,800,000

基本金組入前年度収支差額(予備費含む)	530,200,000	1,606,700,000	△ 1,076,500,000
基本金組入額合計	0	△ 529,200,000	529,200,000
当年度収支差額	530,200,000	1,077,500,000	△ 547,300,000
前年度繰越収支差額	△ 6,026,400,000	△ 7,103,900,000	1,077,500,000
基本金取崩額	12,000,000	0	12,000,000
翌年度繰越収支差額	△ 5,484,200,000	△ 6,026,400,000	542,200,000

(参考)			
事業活動収入計	17,127,000,000	17,722,700,000	△ 595,700,000
事業活動支出計	16,596,800,000	16,116,000,000	480,800,000

5億円増の予算とした。P.C.B.処理費用の増加により、昨年度比3・3%の増加による見込みで、度比1・0億円増の予算とした。人件費比率は44%とされるが、国で定めたマイナスシーリングを基に重きを置いた予算としている。絏費支出で3%の増加する見込みで、昨年3%増(昨年度比42.5%)。②教育研究環境の充実に重点を置いた予算としている。絏費支出で3%の増加する見込みで、昨年3%増(昨年度比42.5%)。	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】
II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】
II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】
II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】
II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動支出】	II【教育活動

新任紹介
（敬称略）

若山 将征 助教
(教育センター 情報科)
わかやま まさゆき じゅぎょう
(きょういくセンターカンリブウコ)

秋田 谷洋 上席研究員
(惑星探査研究センター)

三宅 範宗 研究員

もりわき
森脇涼太研究員

今村 聰
いまむら さとる

職員

 金田 一広 教授 (都市環境工学科)	 高橋 晓子 教授 (情報ネットワーク学科)	 金田 一広 教授 (都市環境工学科)
 角田 仁 教授 (金融・経営リスク科学)	 東壯一郎 准教授 (経営情報学科)	 角田 仁 教授 (金融・経営リスク科学)
 若山 将征 助教 (教育センター・情報科)	 中澤 新一 所長 (日本文化再生研究センター)	 若山 将征 助教 (教育センター・情報科)
 秋田谷洋 上席研究員 (惑星探査研究センター)	 鉢井 隆明 主任研究員 (未来ロボット技術研究センター)	 秋田谷洋 上席研究員 (惑星探査研究センター)
 三宅 範宗 研究員 (惑星探査研究センター)	 吉田 果奈 研究員 (次世代海洋資源研究センター)	 三宅 範宗 研究員 (惑星探査研究センター)
 森脇 涼太 研究員 (地球学研究センター)	 宮岡 真莉奈 事務職員 (総務部給務担当)	 森脇 涼太 研究員 (地球学研究センター)
 今村 聰 担当 事務職員 (就職・進路支援部就職担当)	 川中 厚大 学生担当警備室警備員 (教学センター新習志野)	 今村 聰 担当 事務職員 (就職・進路支援部就職担当)

總集卷上



新型コロナウイルス感染症の先行きがいまだ不透明のこの状況の中、オープンキャンパス等のイベントを行うことに対する入試広報部では担当課員らが奮闘している。そもそも、本学のオープンキャンパスは、とにかく楽しい！ 各学科の

先生方や学生らが趣向を凝らして実施する「学び」で、アイデアでも時間をかけて綿密に準備し、学科の魅力を存分に生かした「学び」が提供される。今さらではあるが、1日で、5千人規模の大イベントを事故なく来場者に満足して帰つてもらうのは、並々ならぬ努力の眼鏡なのだと思つぐ。安心してイベントに参加してもらうためには、

しっかりと感染症対策を講じ、それを来場者に寧に伝えることが大切。今後の、ウェブサイトの展開も重要なだ。

昨年に続き今年もまた満開の桜の下で楽しくお花見をしている光景は少なかつた。あれから一年。いつまで制限された生活が続くのだろう。

葉市47チームの頂点に立ち見事に県大会への切符を手にした。野球少年が憧れる県大会出場チームのみが左袖に縫い付けられることができるメインズギンサー某有名ハンバーイチエーンのワッペン。優勝した時の選手たちの笑顔が今でも忘れられない。

んでいた。むしろ親のほう
うが悲しがっていたのを
もしない。今年、まことに
新たなステージでG.W.
へ口へ口になって練習し
ている長男を見て、恥ず
かしながら子供にたとへ
んのことを教わった気分
した。

の季雄盛



コロナ禍により当たり前であつた日常生活が大好きな制約を受けるようになつてから1年数ヶ月。1年もすれば元の生活に戻るであろうと楽観的に考えていた自身の見識の浅さとともにウィルスの厄介さを痛感させられています。この間、P.P.A.の活動も限定的にならざ

多くのマスコミでも紹介されたように千葉工業大学は他大学に先駆けて対面授業を再開し、食事券の配布などの施策を通して学生達の支援を積極的に実行ってくれました。今春の大學生試において全国2位の志願者数を集めたこともそのような施策が評価されてのことと

させていただきました。
これも瀬戸熊理事長、松井学長、小宮前学長をはじめとする関係各位のご指導、ご協力の賜物と感謝いたしております。
千葉工業の益々の発展と一日も早いコロナの収束を願うばかりです。

PPA

るを得なかつたわけです
が、会員の皆様から深
いご理解とご協力をいた
だきましたことを御礼申
あり保護者として大変嬉
しく思っています。
この2年間はPAP認
会長として1年、会長に